

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市旭町地域ふるさと協議会
日 時	令和元年6月27日（木）午後1時00分～2時20分
場 所	旭町近隣センター 会議室A
参加者	ふるさと協議会役員等 : 10名 地域づくり推進部長 : 1名 旭町近隣センター所長 : 1名 地域支援課職員 : 5名 地域づくりコーディネーター : 2名 合計 : 19名
次 第	別紙のとおり
意見 交換	ふるさと協議会役員 ・防災訓練は、子どもたちのイベントにできるだけ大人がついて来るような形にしていきたい。 ・昨年は旭東小学校（以下、旭東小）のミニバスケットボール（以下、ミニバス）のチームが炊き出し等の活動を通して、帰宅困難者の模擬体験をした。 ・今年は少年野球チームや子ども会に声をかけ、煙体験、AED体験、消火体験等を予定している。 ・二学期の最終登校日に、各ポイントに立ち、子どもたちの見守りを行う予定。 ・年末に火の用心のパトロールも行っている。
	ふるさと協議会役員 ・「ふるさと協議会を知ってもらおう」では、旭町近隣センターで季節ごとの飾りつけをふるさと協議会の行事として行っている。 ・「担い手不足」では、新しいアイデアが出てくるように若い新しい方にも参加していただきたいとは思っているが、働いている方がほとんどであるため、難しいと感じる。
	ふるさと協議会役員 ・このエリアは昔から商店街の人たちが役員をやっていたが、商店が消滅してしまい、担い手不足が起きていると感じている。 ・旭東小のミニバスの保護者はいろいろと協力をしてきている。帰宅困難者の模擬体験はやってよかったと思う。以前は旭東小で実施していたが、校長が代わり学校の方針でできなくなった。本来で

あれば校庭を使って実施したいところ。

- ・旭わくわくクラブでは、年間約4,000人が活発に活動している。参加者は近隣センターの掃除を年末にやってくれている。ふるさと協議会の中で最もまとまってやっている事業で補助金を出している。

柏市職員

- ・少年野球等の保護者を巻き込むことができたり、他地域ではサークルが衰退していく中で、旭町地域では活発に活動されていたりするのはどのような工夫をされているからなのか。

ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会をどう組織していったらよいかと何度も議論した。わくわくクラブは、今まで別々にやっていたことを組織化して、ふるさと協議会という枠組みで活動できるようにした。
- ・近隣センターで活動していたサークルをふるさと協議会の一員とすることで、補助金を出して積極的にサポートしている。
- ・反対に老人会は衰退している。

ふるさと協議会役員

- ・老人会には市からたくさん資料が来て大変。

ふるさと協議会役員

- ・老人会では、お茶会などは特にはないが、参加できない人に対して会報を配っている。からだは動けないが情報が欲しいという人が参加をしている。普通の老人会とは少し違うと思う。

ふるさと協議会役員

- ・クレヨン（子育てサロン）では、参加する子どもが減ってしまい、同じメンバーが参加をしているが、劇や歌を楽しくやっており、うまくやれていると感じている。
- ・親子のつどいという勉強会もやっている。
- ・地区社協部は非常に忙しく、月の10～15日は近隣センターに来ている。理事のみなさんにももっと協力してもらいたい。
- ・支えあいは、助けてほしいという人がたくさんいるため、他地区でも推進してもらいたい。しかし、マンションが建つときに業者の

呼びかけが足りずに、町会に入会してくれていない。
・「報酬を出す」と言っているうちは、いいことができない。それ以上にいいことをしようという思いがないとできない。

ふるさと協議会役員

- ・ 支えあいで、有償ボランティアを公募したことがあるが、20名ほどの応募があったにもかかわらず、実施に至らなかった。理由としては、個人情報の管理を懸念し、氏名や電話番号を明かしてくれない人がいたことである。つまり、応募者側の目的がボランティアをすることではなく、お金をもらうことになってしまっていた。
- ・ 「役員の負担を少なくする」では、補助金の交付に必要な決算報告の様式が市と社協で異なるのが手間。また、提出するものが多すぎる。印刷代もかかり、熟知した人しかできない。
- ・ 市で補助金の使い道を気にしているからか資料が多くなっているが、チェックするにあたりそこまで本当に必要とするのか。

ふるさと協議会役員

- ・ 補助金の使い道について、事業計画に基づいて執行してくれとなっているが、稟議書制度を取り入れ、公明正大に執行している。不信な点があれば指摘して欲しい。必要なものに無駄なく使っているということについては自信を持って言える。

ふるさと協議会役員

- ・ 支えあいというのは、単に弱い人を支えていくということだけでなく、支える人同士、支えられる人同士が繋がれるようにするという目的もあると考えている。向原町会では、ゴミ問題の件についてファミレスで話し合いましたと声をかけると結構な人数が集まった。これを年に二回やっている。町会の一部で試験的にやっていることを町会内に広く宣伝し、町会で補助金を出し、支援している。
- ・ 町会でバス旅行をし、子どもたちも参加をしたことにより、つながりが生まれた。大人の社会に子どもの出番をどう作っていくかということを考えて、子育て支援に役立てていきたい。

ふるさと協議会役員

- ・ あさひ北部自治会では、夏休みの最後に日帰り旅行をやっている。子育てイベントで父母との関係を築き、担い手不足の解消を目指し

ている。うまくいっていると思う。

ふるさと協議会役員

- ・町会では、役員をお願いすると身構えられてしまうため、サポーター制度は非常に良い。向原町会では、サポーター制度が機能している。

ふるさと協議会役員

- ・ご苦労されていることは何か。

ふるさと協議会役員

- ・月10～15日も近隣センターに来ている。大変だが、このくらい活動しないと成り立たない。

ふるさと協議会役員

- ・サークル活動に参加することで、この地域の方々は健康でいられている。

ふるさと協議会役員

- ・サークル活動は居場所づくりにも貢献していると思っている。

ふるさと協議会役員

- ・PTA役員の方々とどのようにつながったらよいか。現在、グランドゴルフをやっているが、パークゴルフ場があった方が、人とつながりも生み出すことができる。未開発地をうまく利用して、パークゴルフ場にできないか。またはお年寄りが楽しめるような施設はできないか。新富町のわくわく広場は寄附でできた。午前中はゴルフをしていいようだがそのことがほとんど知られていない。

ふるさと協議会役員

- ・空いているときに校庭を貸してほしい。校庭の有効利用は今からでもできることだと思う。
- ・青少協やPTAをふるさと協議会の傘下に入れた方が連携できるため、よいと思う。

ふるさと協議会役員

- ・空き家問題が話題になっているが、使ってもよい空き家を紹介し

	<p>て欲しい。今は老人ホームの一角を借りている。</p> <p>ふるさと協議会役員 <ul style="list-style-type: none"> ・「一緒に活動してくれる仲間を増やす」では、料理教室を開催して参加してくれた人が健康づくり推進委員になってくれた、夜間パトロールに参加した人が活動に参加してくれるようになった等、ひとつの活動を通してその後も参加してくれるようなこともある。 </p> <p>ふるさと協議会役員 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場がほとんどない。あっても私有地で、遊具の点検がされていないと感じられるため、市でも点検してほしい。 </p> <p>柏市職員 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者やサークルを巻き込んでやっているのは他の地域にはない特徴。他地域にも伝えていけたらと思う。どのようにふるさと協議会が中心となって組織化をしていったのか。 </p> <p>ふるさと協議会役員 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣センターの有料化に伴って、サークル等の活動を支援していきたいと思い、組織化した。 </p> <p>柏市職員 <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんの一生懸命さや何かお手伝いをしたいという気持ちが、きっとサークル方々や学校にも少しずつ伝わっていくと思う。 </p> <p>ふるさと協議会役員 <ul style="list-style-type: none"> ・会長が仕掛けてくれているということがとても大事。その会長が仕掛けたことを、藤江所長がうまくサポートしてくれている。所長の存在はとても大きい。 </p> <p>ふるさと協議会役員 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣センター所長をはじめ、近隣の方々が協力をしてくれている。 </p>
<p>いただ いたご 意見の まとめ</p>	<p>主に次のような御意見を伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭町地域ふるさと協議会の活動概要として、防災訓練の話、わくわくクラブの話、近隣センターの年中行事展示の話をお伺いした。 ・各町会の担い手不足解消の取組をお伺いした。

担い手としてサポーター制度を活用して、子どもを中心に大人を巻き込むことが大切。

- 決算の資料について、書類が多すぎるというご指摘をいただいた。
- 校庭を地域に開放してほしいというご要望をいただいた。
- ふるさと協議会とPTAのつながりをどう作るかというお考えを伺った。
- 使える空き家を紹介して欲しいというご要望をいただいた。
- 近隣センターの所長がすばらしいというエピソードを伺った。